

清川村総合教育会議で方針決定をした「村立幼稚園、小・中学校の今後のあり方について」

児童・生徒数の減少や教育施設の老朽化に伴い、村立幼稚園、小・中学校のあり方について、保護者で構成する「学校のあり方研究会」並びに地域住民の代表者や学識経験者等で構成する「学校のあり方検討会」を設置し、幅広い見地から研究、検討をしてまいりました。

「研究会」では、「幼稚園、小・中学校で同一施設の一貫校を新設するのが望ましい」ということでまとまりました。

「検討会」では、清川村の児童・生徒数の減少からより効果的な教育環境を整えるには「幼稚園、小・中学校で同一施設の一貫校を新設するのが望ましいとし、保護者や地域には丁寧に説明する」ということでまとまりました。

総合教育会議では、この研究会、検討会の検討結果を踏まえ、協議したところ、「これからの時代にふさわしい教育施設」、「学びやすい一貫した系統的な教育課程のもと、清川の子どもたちを育てることができる」とのことから、次のとおり方針決定しました。

【方針決定】

「清川にひとつの 清川らしい幼稚園・小学校・中学校が一体となった新しい一貫校をつくりあげていく。」